



Color LaserJet Managed E877 / E786 / E785 series

サプライ警報メールの設定手順

Contents

1. 事前準備	3
2. サプライ残量警報の有効化.....	4
3. SMTP サーバーの設定	12
4. 警報のサブスクリプション設定.....	17
5. 動作テスト.....	21
6. デバイス情報にユニークな情報を設定する	23
7. トラブルシューティング	24

1. 事前準備

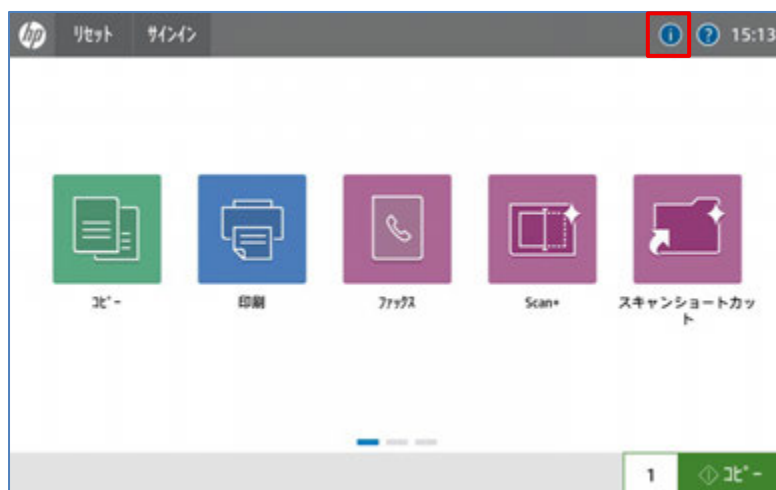
まず、サプライ残量をメール通知する際に必要となる以下の情報をご確認下さい。

- メールサーバのホスト名、又は IP アドレス
- メールサーバの SMTP サービスの TCP ポート番号 （通常は 25 番）
- メールサーバがユーザー認証を必要とする場合には、ユーザー名とパスワード

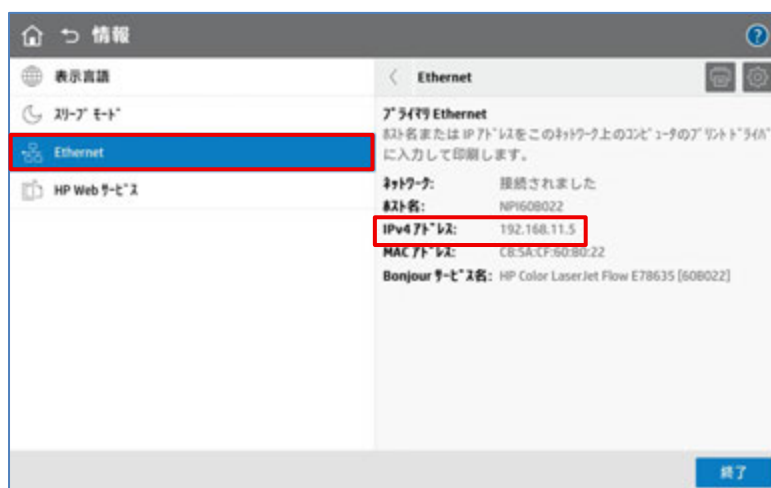
2. サプライ残量警報の有効化

デフォルトではサプライ残量警報が無効になっております。組み込み Web サーバー (EWS) とコントロールパネルを使って、サプライ残量警報を有効にします。

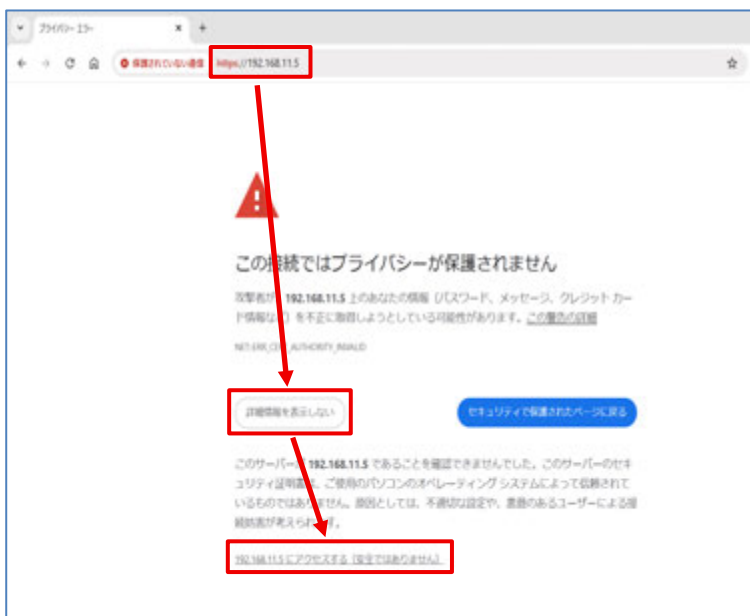
2.1. プリンターのコントロールパネル右上のインフォメーションボタンをタッチします。



2.2. [Ethernet]をタッチして、プリンターの IP アドレスを確認します。



- 2.3. PC の Web ブラウザの URL 欄にプリンターの IP アドレスを入力し、組み込み Web サーバー (EWS)にアクセスして、管理画面を表示します。プライバシーに関する警告が表示される場合には、[詳細設定]>[アクセスする]をクリックします。



- 2.4. 画面右上の[サインイン]をクリックします。



- 2.5. パスワードを設定している場合は入力し、[サインイン]をクリックします (パスワードの初期設定では空欄です)



- 2.6. [セキュリティ]>[一般セキュリティ]の[サービスアクセスコード]と[アクセスコードの確認]に任意の数字8桁 (この例では **12345678**) と入力し、[適用]をタッチします。ここで使用する任意の数字8桁は、設定変更するために一時的に利用するだけで、最終的にはデフォルトに戻します。引き続き、設定するため、管理画面は開いたままにします。



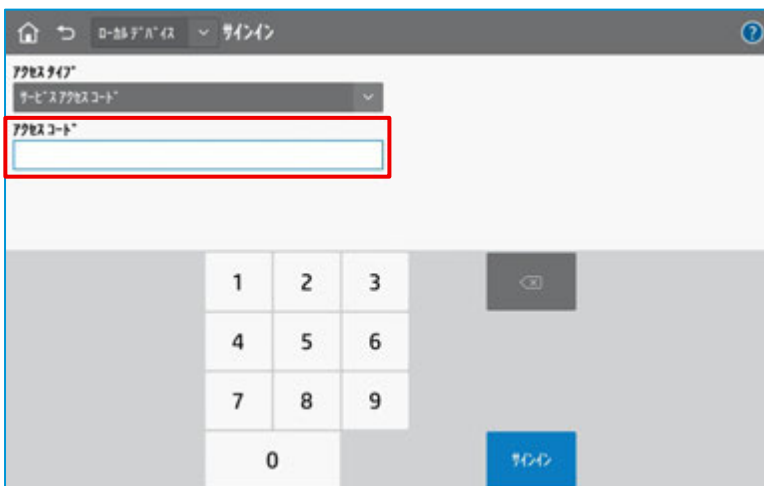
- 2.7. プリンターのコントロールパネルから[サポートツール]をタッチします。



2.8. [サービス]をタッチします。



2.9. 先に設定した任意の数字8桁 (この例では **12345678**) を入力して、[サインイン]をタッチします



2.10. [MPS 設定]をタッチします



2.11. [サプライ品のレベルのリセット]>[レベル1にリセット]をタッチします。



2.12. [残量わずか警報]が“オン”になっていることを確認します。

画面左上の[ホーム]ボタンをタッチして、ホーム画面に戻ります。

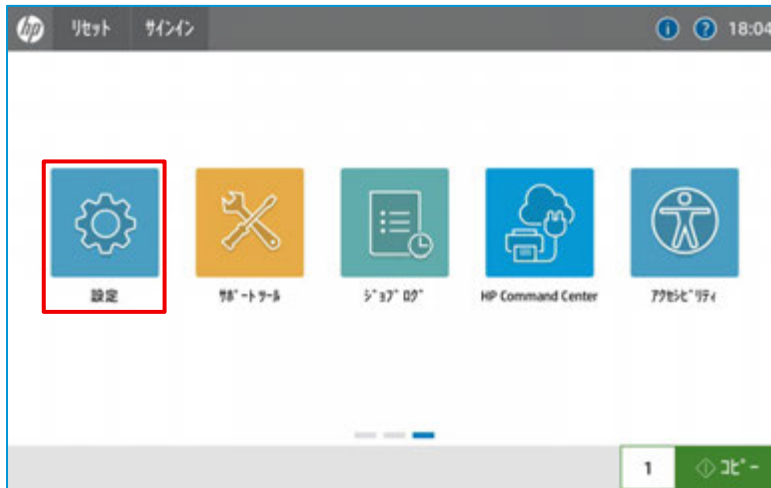


※警報メールが送信されない場合には、一度オフにしてからオンにしてください。

2.13. [サインアウト]をタッチします。



2.14. [設定]をタッチします。



2.15. [サプライ品の管理]をタッチします。



2.16. [警告下限値]をタッチします。



2.17. 各色の警告下限値 (例えば、20%) を設定して、[完了]をタッチします。



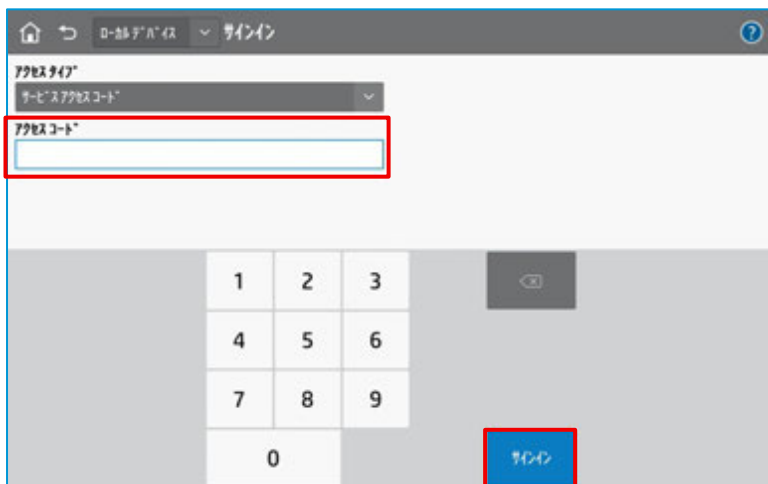
2.18. PC の Web ブラウザーでアクセスした管理画面に戻り、画面右上のユーザーを確認します。
[ユーザー : Administrator]になっていることを確認します。
[ユーザー : Administrator]になっていなければ、再度、サインインします。



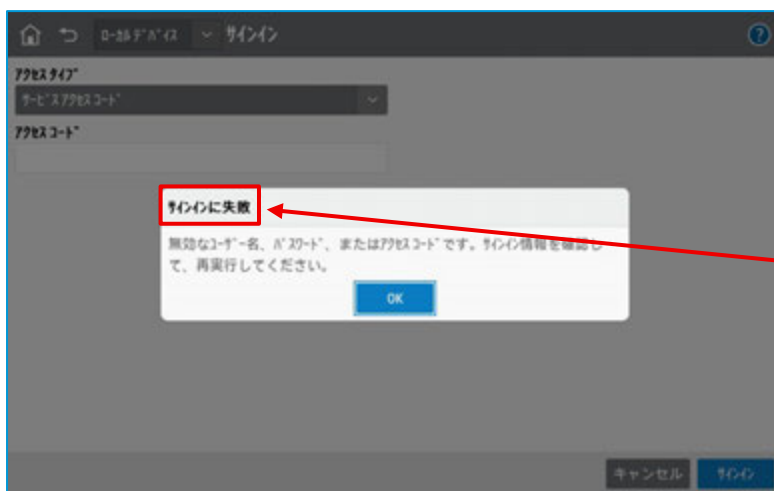
2.19. 一時的に利用したアクセスコード (任意の数字 8 桁) をデフォルトに戻します。
[セキュリティ]>[一般セキュリティ]から[サービスアクセスコード]と[アクセスコードの確認]を空欄にし、[適用]をクリックします



- 2.20. アクセスコードがデフォルトに戻っていることを確認します。
プリンターのコントロールパネルから[サポートツール]>[サービス]をタッチします。
[アクセスコード]に、先に設定した任意の数字8桁(この例では **12345678**)を入力し、
[サインイン]をタッチします。



- 2.21. “サインインに失敗”と表示されれば、アクセスコードがデフォルトに戻っています。
[OK]をタッチして、[ホームボタン]からホームに戻ります。



“サインインに失敗”と表示されていれば問題ありません。

3. SMTP サーバーの設定

- 3.1. Web ブラウザの URL 欄に複合機の IP アドレスを入力して、組み込み Web サーバー (EWS) にアクセスします。
- 3.2. [一般]→[警報]→送信電子メールサーバ(SMTP)の[追加]をクリックします。



- 3.3. SMTP サーバアドレスまたはホスト名を入力して、[次へ]をクリックします。



3.4. [ポート番号]を設定して、[次へ]をクリックします。



3.5. [サーバ認証要件]では、メールサーバがユーザー認証を必要とするかどうかを選択して下さい。ユーザー認証が不要な場合には、“サーバによる認証が不要”を選択します。ユーザー認証が必要となる場合には、“サーバに認証が必要です”を選択して下さい。



■アクセスの確認

[アクセスの確認]を ON にして、[次へ]をクリックすると、前のステップで設定した SMTP サーバーへのアクセス確認を行います。



SMTP サーバーの DNS 名やポート番号などが間違っている場合、以下のようなエラーが発生します。前のステップに戻り、SMTP サーバー名やポート番号を確認して下さい。



- 3.6. スキャンやファクスなどでメールサーバを必要とする機能を利用する場合には、そのまま、[次へ]をクリックします。使用しない場合には、チェックを外します。



- 3.7. テストメールの送信先メールアドレスを入力して、[テスト]をクリックします。



- 3.8. テストメールの送信中。送信完了するまで、しばらくお待ち下さい。



3.9. “正常に送信しました、受信トレイまたは迷惑メールフォルダを確認してください。”と表示されたことを確認して、[終了]をクリックします。



3.10. 以下のようなテストメールを受信することを確認します。



3.11. “操作は正常に完了しました”と表示され、設定したメールサーバが表示されていることを確認します。



4. 警報のサブスクリプション設定

4.1. 警報のサブスクリプションの[新規のサブスクリプション]をクリックします。



4.2. [警報のサブスクリプション名]に任意の名前を設定して、[警報の宛先]に送信先 Email アドレスを入力します。



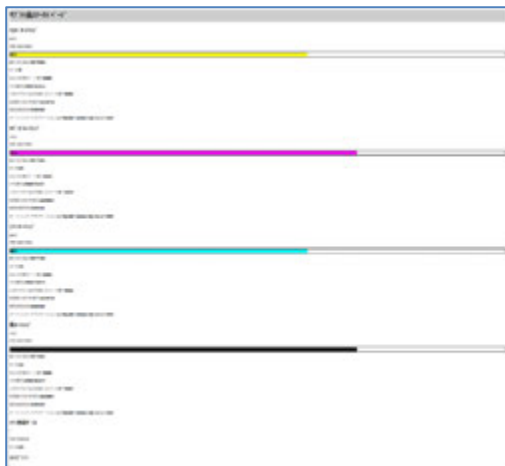
4.3. 警報対象の項目を選択します。

※[すべての警報を表示]をクリックすると、すべての項目を表示することができます。



■[サプライ品ステータスページ]、[プリンタ設定ページ]とは

[サプライ品ステータスページ]
すべてのトナーカートリッジ残量を
確認することができます。



[プリンタ設定ページ]
シリアル番号やファームウェアバージョンなどの機器の情報を確認することが
できます。



- 4.6. “操作は正常に完了しました”と表示され、作成したサブスクリプションが表示されていることを確認します。



- 4.7. [アドレスの指定]を選択して、差出人(From)の Email アドレスを設定して、[適用]をクリックします。



※差出人(From)の Email アドレスはご利用の SMTP サーバーで送信可能な Email アドレスであることが必要になります。

- 4.8. “操作は正常に完了しました”と表示されます。



5. 動作テスト

5.1. 作成したサブスクリプションを選択して、[テスト]をクリックします。



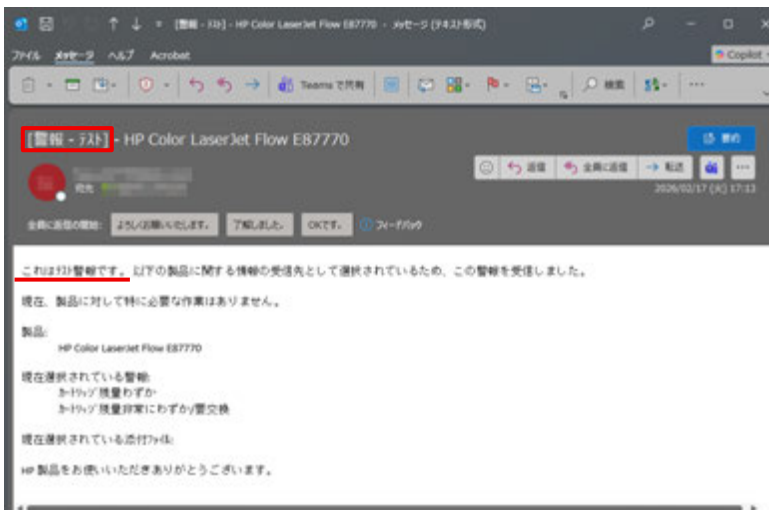
5.2. [警報の宛先]を確認して、[OK]をクリックします。



5.3. “操作は正常に完了しました。”と表示されます。



5.4. 以下のようなテストメールを受信することを確認します。



6. デバイス情報にユニークな情報を設定する

[デバイス情報]の[ニックネーム]フィールド、[デバイスの場所]フィールドを設定すると、アラートを送信してきた機器を特定する際の情報としてご利用頂けます。

- 6.1. [一般]→[デバイス情報]の[ニックネーム]、[デバイスの場所]フィールドを設定すると、アラートメールに記載されます。アラートを送信してきた機器を特定する際の情報としてご利用頂けます。



※[ニックネーム]は EWS (組み込み Web サーバー) の上部にも表示されます (黄色の四角)

- 6.2. 以下のようにメール本文に[ニックネーム]と[デバイスの場所]が記載されます。



※「5.動作テスト」のテストメールでは、[ニックネーム]と[デバイスの場所]はメールに記載されません。

7. トラブルシューティング

7.1. テストメールを送信しようとする、以下のように『操作が失敗しました。設定を確認して、もう一度試してください』メッセージが表示される。



A) DNS サーバを正しく指定していることを確認して下さい。

[ネットワーク]→[TCP/IP 設定]→[ネットワーク ID]で、正しく DNS サーバが指定していることを確認します。



B) SMTP サーバのサーバ名やポート番号が正しいことを確認して下さい。

[スキャン/デジタル送信]>[デフォルトジョブオプション]から設定したメールサーバを選択して、[編集]から確認します。



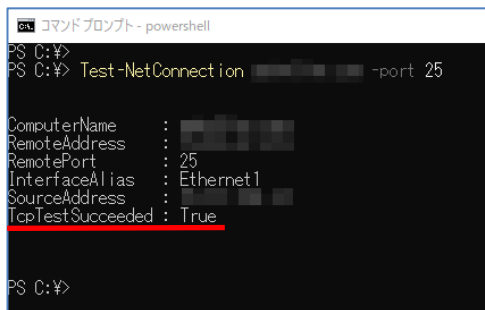
C) SMTP サーバの TCP ポート (デフォルト:25) がオープンしていることを確認して下さい。

クライアント PC から Windows PowerShell のコマンドレット Test-NetConnection を使って確認することができます。

PS C:\> Test-NetConnection <SMTP サーバー名> -port <ポート番号>
アクセス確認ができると、TcpTestSucceeded:True と表示されます。

例、PS C:\> Test-NetConnection smtp.test.local -port 25

アクセス確認ができた場合 : True



アクセス確認ができなかった場合 : False

